ゅ 身の回りにあるきけんを知って

さいがい いのち まも 災害から命を守ろう

> しょうがくせい 小学生ぼうさい教育ハンドブック



1 はじめに

このテキストは、小学生のみなさんが、身の回りにある災害のきけんを知り、いざというときに、自分や家族、友だちの命を守れる行動がとれるようになることを目できにつくられています。

テキストは、3つのステップからなっています。3つのステップを学ぶことで、これまでよりも災害について知り、いざというときの心がまえができるようになります。

がっこう せんせい かぞく とも み まわ さいがい はな 学校の先生や家族、友だちと、身の回りの災害について話しをしてみましょう。

ステップ1 災害について知ろう

にほん ま 日本で起きるさまざまな災害について知ろう 知る

ステップ2 **身の回りのきけんについて** 考 えよう

ゅ まわ さいがい ぉ かんが 身の回りでどのような災害が起こりやすいかを 考 えよう ^{かんが} 考える

ステップ3 災害にそなえて行動しよう

でいがい ま こうどう かんが 災害が起きたときの行動について 考えよう ^{こうどう} 行動する

ステップ1 災害について知ろう

び害とは、地震や台風などによって、これまでのようにくらせなくなったり、命を **
落としたりすることです。日本で起きる災害には次のようなものがあります。

1 1 /	7. th 7.	4) 4" / > / +)
じ しん 地震	っ _{なみ} 津波	^{かざんふんか} 火山噴火
とつぜん起こる大きなゆ	っゃ ぉ 海で起こるとても大きな	_{ゃま} 。。。 山から、熱いマグマがふき
れのこと。たて物がこわれ る。	波のこと。	出すこと。
地すべり	がけ崩れ	
*** たに めん 山や谷のしゃ面がゆっくり とすべってくずれること。	きゅう 急にしゃ面がくずれ落ち ること。	

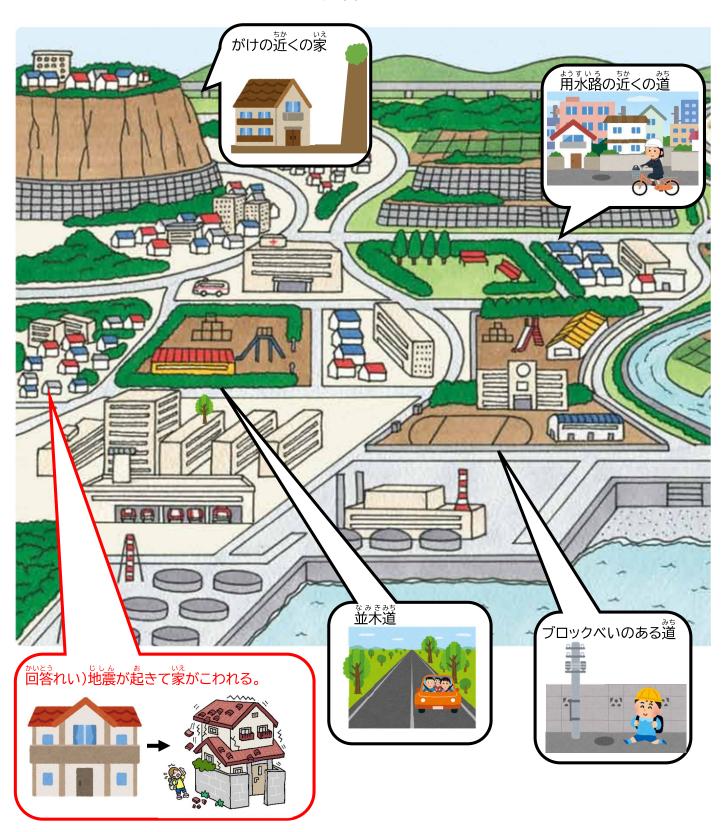
^{みじか ち} 身近な地いきで聞いたことのある災害はありますか?

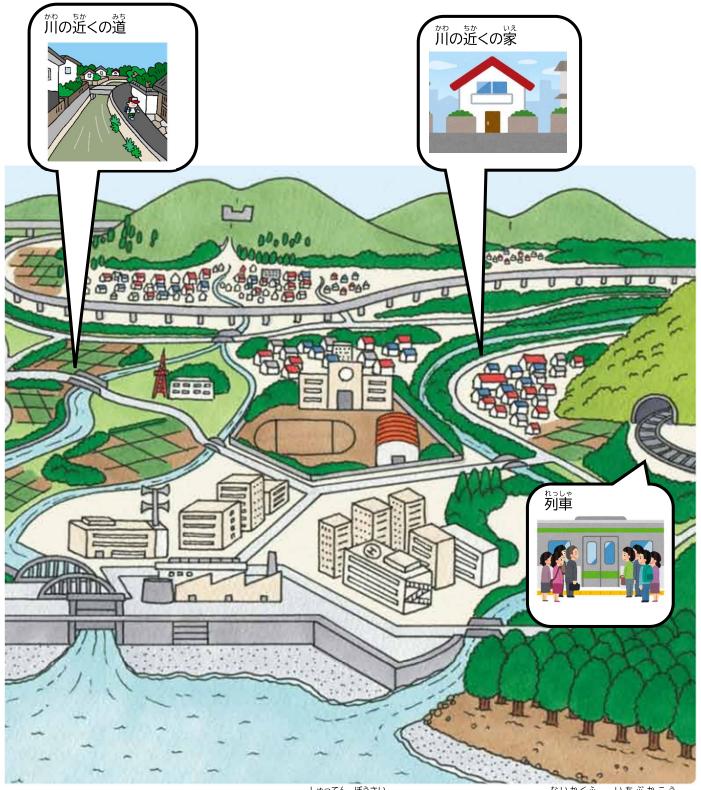
ごうう 豪雨	ごうせつ 豪雪	_{なだれ} 雪崩
いっせいにたくさんふる	いっせいにたくさんふる	やまめんゆき
あめのこと。	雪のこと。	が 山のしゃ面につもった雪 が 急 にくずれ落ちるこ と。
こうずい 洪水	たいふう 台風	たかしお 高潮
		200 20 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
************************************	^{おお かぜ あめ} 大きな風と雨のこと。	^{うみ ひょうめん} 海の表面がとても高くな ること。

ステップ2 身の回りのきけんについて 考 えよう

っき 次に、どのような場所で災害やひがいが起こるのかを 考えてみましょう。

オラストの地いきでは、どのような災害が起こるかのうせいがあると思いますか?





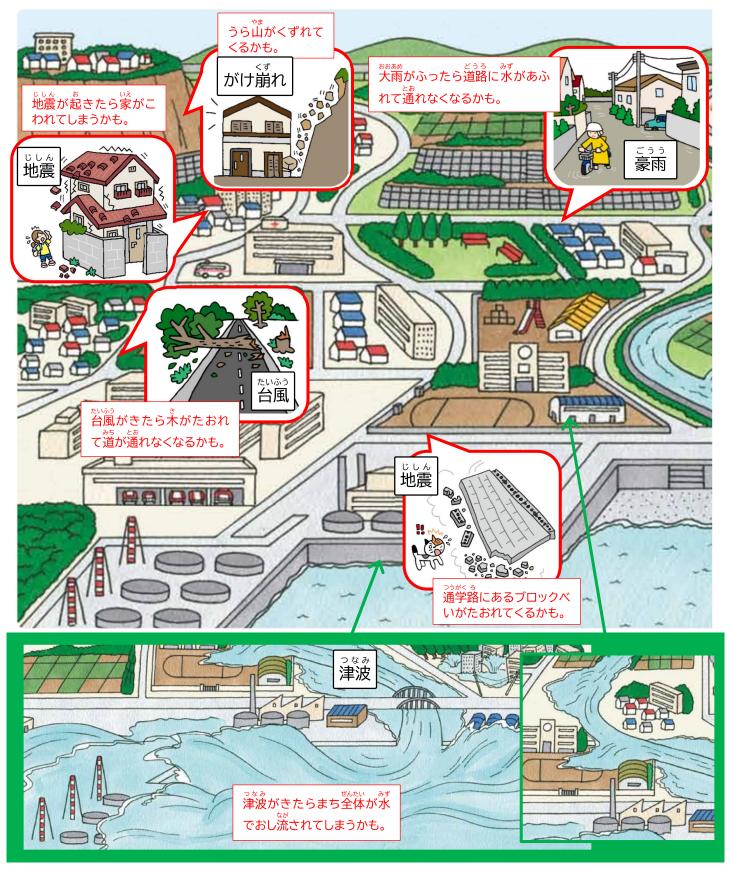
しゅってん ぼうさい 出典:防災まちづくり・くにづくり(内閣府)(一部加工)

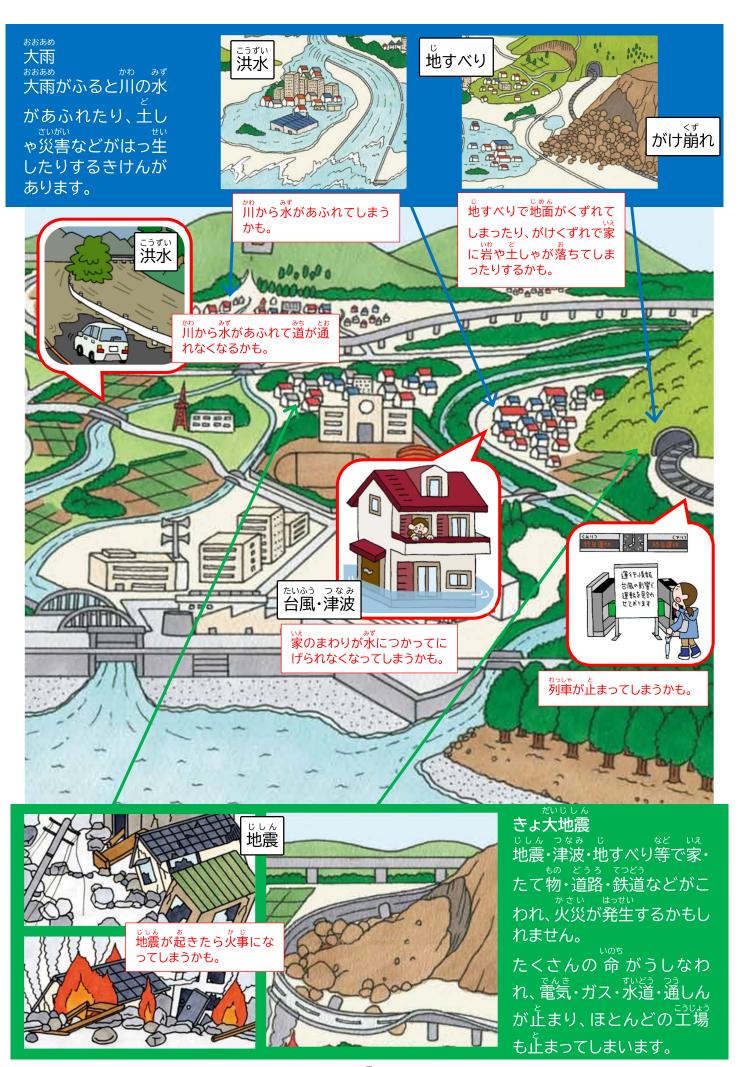
たくさんきけんが見つかったかな?

まちの中にはたくさんきけんがひそんでいます。

がっこう せんせい かぞく とも はな あ 学校の先生や家族、友だちと、話し合ってみましょう。

しゅってん ぼうさい はちぶかこう 出典:防災まちづくり・くにづくり(内閣府)(一部加工)





ステップ3 災害にそなえて行動しよう

さいがい たい こうじょ じょ じじょ 災害への対おうには、「公助」、「きょう助」、「自助」があります。

こうじょ **公助**

こうじょ やくしょ ひと さいがい たいおう 公助とは、役所の人が災害の対応をすることです。

こうじょ 公助のれい:

さいがい はっせいまえ 災害の発生前



●ハザードマップ っ< を作る



●災害のこわさを伝える



●津波ひなんタワーを で 作る

さいがい はっせいご 災害の発生後



●救助する



●ひなん所を開く

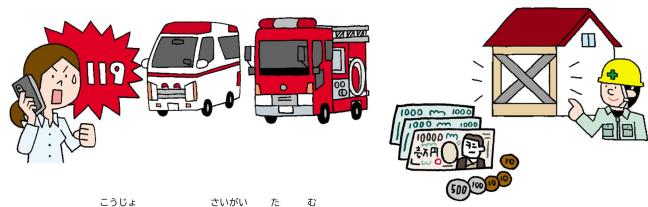


●こわれた道などをつく りなおす 自然の力は、大きく、考えていたよりも大きな災害が起きるときがあります。

そんなときは、道路がこわれて救急車や消防車が助けに来られないかもしれません。

***・
対 急 車 や消防車はたくさんないため、すべての人を助けることはできません。

また、あたらしくまちをつくりなおすにもお金と時間がかかります。



このように、公助だけでは災害に立ち向かうことはできません。

きょう助

きょう助とは、同じ地いきに住んでいる人たちで災害に立ち向かう行動のことです。

きょう助のれい:

さいがい はっせいまえ 災害の発生前

さいがい はっせいご <mark>災害の発生後</mark>



●地いきのきけんを かくにんする



●災害時の対おうについて ●災害時の対おうについて きんじょ ご近所さんと相談する



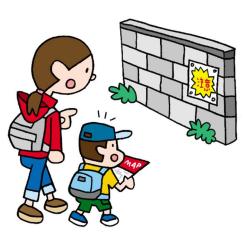
●お年よりの安全 をかくにんする

しかし、公助ときょう助だけでも災害に立ち向かうことはできません。

じじょ自助

じじょ しぶん かぞく みずか いのち まも こうどう 自助とは、自分や家族が 自らの命を守るための行動のことです。

さいがい はっせいまえ 災害の発生前

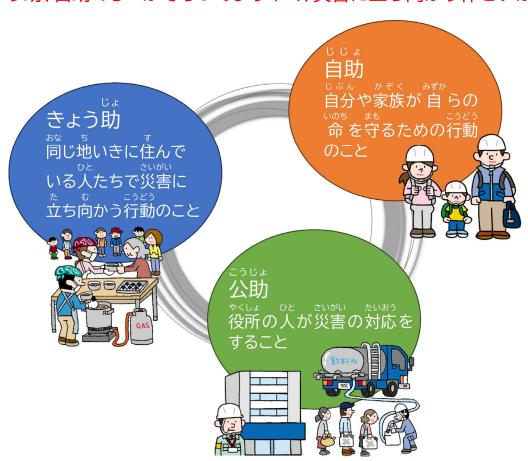






- ●通学路にあるきけ んをかくにんする
- ●家族で日ごろからのそな えについて相談する
- ●地しんにそなえて家具 ^{あんぜん} の安全せいを高める

こうじょ じょ じじょ ないがい た むか たい ないがい きょう助、自助の3つがそろってようやく、災害に立ち向かう体せいができます。



【コラム】ハザードマップについて

じぶん す ち 自分の住む地いきのハザードマップを調べてみましょう。

わがまちハザードマップ:

https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmapportal/hazardmap/index.html





これは、別の水があふれた時 のひがいを表したハザードマップです。色やも様のちがいは、ひがいのじょうきょうのちがいを表しています。



出典:重ねるハザードマップ(国土地理院)

ハザードマップは、災害によるひがいを軽くしたり、どのようにひなんできるのか

を考えたりするために使える地図のことです。災害が発生すると思われる場所や はしょ 災害の発生したときのひなん場所、ひなんけい路などがしめされています。

【コラム】マイ・タイムラインについて

自助を手助けする取り組みとして、マイ・タイムラインが広がっています。マイ・タイムラインは、一人ひとりが災害時に、「いつ」「なにを」行動すればよいかを考える計画のことです。自分で考えることで、災害時に命を守るひなん行動をとることができるようにするものです。

マイ・タイムライン検討ツール:

https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/mytimeline/pdf/nigekid 202402.pdf



かんが

災害へのそなえについて考えよう!

これまでの学んだことを思い出しながら、災害がおこった時にどのようにすればよ

ゕ´
ぞヾ はな ぁ
いのか、家族で話し合ってみましょう。

